

(4) カーネーション

病害虫	防除法	参考事項										
萎凋病	(耕種的・物理的防除) 1 土壌を蒸気消毒(80℃以上で 10～15 分間)する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 2 下記薬剤のいずれかにより土壌消毒を行う。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤</td></tr><tr><td>キルパー</td></tr><tr><td>クロールピクリン</td></tr><tr><td>ドジョウピクリン/クロピク 80/ドロ</td></tr><tr><td>クロール</td></tr><tr><td>クロピクフロー</td></tr><tr><td>クロルピクリン錠剤</td></tr><tr><td>ダブルストッパー</td></tr></tbody></table>	薬剤名	ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤	キルパー	クロールピクリン	ドジョウピクリン/クロピク 80/ドロ	クロール	クロピクフロー	クロルピクリン錠剤	ダブルストッパー	○ 発生の多いほ場では萎凋病抵抗性品種を用いる。	
薬剤名												
ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤												
キルパー												
クロールピクリン												
ドジョウピクリン/クロピク 80/ドロ												
クロール												
クロピクフロー												
クロルピクリン錠剤												
ダブルストッパー												
疫病	(耕種的・物理的防除) 1 土壌を蒸気消毒(80℃以上で 10～15 分間)する。 2 発病株を処分する。発病したらなるべくかん水を控え、特に頭上かん水を避ける。 (薬剤防除) 農薬登録情報 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オラクル顆粒水和剤</td><td>ポット・プランター等の容器栽培</td></tr><tr><td>オロンディスウルトラSC</td><td></td></tr><tr><td>ユニフォーム粒剤</td><td>ポット・プランター等の容器栽培</td></tr><tr><td>リドミル粒剤 2</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	オラクル顆粒水和剤	ポット・プランター等の容器栽培	オロンディスウルトラSC		ユニフォーム粒剤	ポット・プランター等の容器栽培	リドミル粒剤 2		○ ほ場が冠水すると多発する。
薬剤名	備考											
オラクル顆粒水和剤	ポット・プランター等の容器栽培											
オロンディスウルトラSC												
ユニフォーム粒剤	ポット・プランター等の容器栽培											
リドミル粒剤 2												
さび病	(耕種的・物理的防除) 1 発病葉は、直ちに取り除く。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病ごく初期から下記薬剤のいずれかを 7～10 日おきに散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>ジマンダイセン水和剤</td></tr><tr><td>バシタック水和剤 75</td></tr></tbody></table>	薬剤名	ジマンダイセン水和剤	バシタック水和剤 75								
薬剤名												
ジマンダイセン水和剤												
バシタック水和剤 75												

病害虫	防除法	参考事項										
立枯病	(耕種的・物理的防除) 1 麦稈は生のまますき込まない。 2 育苗箱等資材を消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 3 用土、床土及び本ぼの土壌を蒸気消毒(80℃以上で 10～15 分間)するか、共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 タチガレン液剤をかん注する。 2 下記薬剤のいずれかにより土壌消毒を行う。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤</td></tr><tr><td>キルパー</td></tr><tr><td>クロールピクリン</td></tr><tr><td>ドジョウピクリン/クロピク 80/ドロ</td></tr><tr><td>クロール</td></tr><tr><td>クロピクフロー</td></tr><tr><td>クロルピクリン錠剤</td></tr><tr><td>ダブルストッパー</td></tr><tr><td>NCS</td></tr></table>	薬剤名	ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤	キルパー	クロールピクリン	ドジョウピクリン/クロピク 80/ドロ	クロール	クロピクフロー	クロルピクリン錠剤	ダブルストッパー	NCS	○ ムギ類立枯病と同じ病原菌により起こる。 ○ 発病株は除去する。
薬剤名												
ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤												
キルパー												
クロールピクリン												
ドジョウピクリン/クロピク 80/ドロ												
クロール												
クロピクフロー												
クロルピクリン錠剤												
ダブルストッパー												
NCS												
斑点病	(耕種的・物理的防除) 1 発病茎葉を完全に取り除く。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 6月下旬ころ又は発生ごく初期から下記薬剤のいずれかを7～10 日おきに数回散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ダコニール1000</td></tr><tr><td>ポリオキシシンAL水溶剤</td></tr></table>	薬剤名	ダコニール1000	ポリオキシシンAL水溶剤	○ ダコニールは着色後は避ける。							
薬剤名												
ダコニール1000												
ポリオキシシンAL水溶剤												
萎凋細菌病	(耕種的・物理的防除) 1 発病株は直ちに抜き取る。 2 土壌を蒸気消毒(80℃以上で 10～15 分間)するか、共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤のいずれかにより土壌消毒を行う。(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤</td></tr><tr><td>クロールピクリン</td></tr><tr><td>クロピクテープ</td></tr><tr><td>ソイリール</td></tr><tr><td>ディ・トラベックス油剤</td></tr><tr><td>トラベックスサイド油剤</td></tr></table>	薬剤名	ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤	クロールピクリン	クロピクテープ	ソイリール	ディ・トラベックス油剤	トラベックスサイド油剤	○ テッシノ系などの中には抵抗性が認められる品種がある。			
薬剤名												
ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤												
クロールピクリン												
クロピクテープ												
ソイリール												
ディ・トラベックス油剤												
トラベックスサイド油剤												
モザイク病 (CMV)	(耕種的・物理的防除) 1 ウイルスフリー株を導入する。 2 媒介虫アブラムシ類の施設内への侵入を防虫ネットで防止する。 3 はさみ等の器具を消毒する。 4 発病株は直ちに抜き取る。 (薬剤防除) 1 本項のアブラムシ類の防除に基づき防除を行う。											

病害虫	防除法	参考事項																																																					
アブラムシ類	(耕種的・物理的防除) 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 気門封鎖剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>エコピタ液剤</td><td>薬害を生じる場合がある</td></tr><tr><td>ムシラップ</td><td>発生初期</td></tr></tbody></table> 2 自然くん煙 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>マブリックジェット</td></tr><tr><td>モスピランジェット</td></tr></tbody></table> 3 発生が予想される場合は、下記薬剤のいずれかを散布又は施用する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン粒剤</td><td>カーネーションで薬害報告あり。</td></tr><tr><td>オンコル粒剤 1</td><td></td></tr><tr><td>アクタラ粒剤 5</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤー 1 粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ベストガード粒剤</td><td>カーネーションで薬害報告あり。</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td>カーネーションで薬害を生じるおそれがある。</td></tr><tr><td>マラソン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アディオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アーデントフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>スカウトフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ロディー乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ロビンフッド</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤーフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ベストガード水溶剤</td><td>カーネーションで薬害報告あり。</td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>チェス顆粒水和剤</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	エコピタ液剤	薬害を生じる場合がある	ムシラップ	発生初期	薬剤名	マブリックジェット	モスピランジェット	薬剤名	備考	オルトラン粒剤	カーネーションで薬害報告あり。	オンコル粒剤 1		アクタラ粒剤 5		アドマイヤー 1 粒剤		ダントツ粒剤		ベストガード粒剤	カーネーションで薬害報告あり。	スタークル/アルバリン粒剤		オルトラン水和剤	カーネーションで薬害を生じるおそれがある。	マラソン乳剤		アディオン乳剤		アーデントフロアブル		スカウトフロアブル		ロディー乳剤		ロビンフッド		アドマイヤーフロアブル		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		ダントツ水溶剤		ベストガード水溶剤	カーネーションで薬害報告あり。	モスピラン顆粒水溶剤		コルト顆粒水和剤		チェス顆粒水和剤		○ くん煙剤の使用については、共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法的項を参照する。
薬剤名	備考																																																						
エコピタ液剤	薬害を生じる場合がある																																																						
ムシラップ	発生初期																																																						
薬剤名																																																							
マブリックジェット																																																							
モスピランジェット																																																							
薬剤名	備考																																																						
オルトラン粒剤	カーネーションで薬害報告あり。																																																						
オンコル粒剤 1																																																							
アクタラ粒剤 5																																																							
アドマイヤー 1 粒剤																																																							
ダントツ粒剤																																																							
ベストガード粒剤	カーネーションで薬害報告あり。																																																						
スタークル/アルバリン粒剤																																																							
オルトラン水和剤	カーネーションで薬害を生じるおそれがある。																																																						
マラソン乳剤																																																							
アディオン乳剤																																																							
アーデントフロアブル																																																							
スカウトフロアブル																																																							
ロディー乳剤																																																							
ロビンフッド																																																							
アドマイヤーフロアブル																																																							
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																																																							
ダントツ水溶剤																																																							
ベストガード水溶剤	カーネーションで薬害報告あり。																																																						
モスピラン顆粒水溶剤																																																							
コルト顆粒水和剤																																																							
チェス顆粒水和剤																																																							

病害虫	防除法	参考事項																																								
アザミウマ類	・ 共通防除の章のアザミウマ類の防除の項を参照する。 (耕種的・物理的防除) 1 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネットを展張する。育苗期の被覆も有効である。ほぼ完全に侵入を阻止するには、目合い 0.4mm 以下の防虫ネットが必要である。 2 ほ場周辺の雑草を除去する。 3 粘着テープにより成虫を誘殺する。本種は特に青色に誘引される。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物農薬 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>スワルスキー</td></tr><tr><td>スワルスキープラス</td></tr><tr><td>リモニカ</td></tr></tbody></table> 2 キルパーを用いた病害虫まん延防止 (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」を参照) (農薬登録情報) <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>キルパー</td><td>前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録</td></tr></tbody></table> 3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン粒剤</td><td>カーネーションで薬害報告あり。</td></tr><tr><td>オンコル粒剤 5</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td>カーネーションで薬害を生じるおそれがある。</td></tr><tr><td>スミチオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td><td>ミカンキイロアザミウマで登録</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>アグリメック</td><td></td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td><td></td></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ディアナSC</td><td></td></tr><tr><td>カウンター乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ハチハチフロアブル</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	スワルスキー	スワルスキープラス	リモニカ	薬剤名	備考	キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録	薬剤名	備考	オルトラン粒剤	カーネーションで薬害報告あり。	オンコル粒剤 5		ダントツ粒剤		オルトラン水和剤	カーネーションで薬害を生じるおそれがある。	スミチオン乳剤		トクチオン乳剤		アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマで登録	ダントツ水溶剤		モスピラン顆粒水溶剤		アグリメック		アフーム乳剤		スピノエース顆粒水和剤		ディアナSC		カウンター乳剤		ハチハチフロアブル		○ アザミウマの種類により薬剤感受性が異なる。 ○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項 1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 アザミウマの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。
薬剤名																																										
スワルスキー																																										
スワルスキープラス																																										
リモニカ																																										
薬剤名	備考																																									
キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録																																									
薬剤名	備考																																									
オルトラン粒剤	カーネーションで薬害報告あり。																																									
オンコル粒剤 5																																										
ダントツ粒剤																																										
オルトラン水和剤	カーネーションで薬害を生じるおそれがある。																																									
スミチオン乳剤																																										
トクチオン乳剤																																										
アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマで登録																																									
ダントツ水溶剤																																										
モスピラン顆粒水溶剤																																										
アグリメック																																										
アフーム乳剤																																										
スピノエース顆粒水和剤																																										
ディアナSC																																										
カウンター乳剤																																										
ハチハチフロアブル																																										

病害虫	防除法	参考事項																											
ハスモンヨトウ	・ 共通防除の章のハスモンヨトウの防除の項を参照する。 (予防に関する措置) 1 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯（黄色灯）の夜間点灯を行う。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 交信かく乱剤（下表）を活用した防除を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 BT 剤（下表）を活用した防除を行う。 5 施設栽培においては、栽培終了後に密閉処理を行う。 6 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 【ハスモンヨトウ】・【ヨトウムシ類】 1 交信かく乱剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ヨトウコンーH</td></tr><tr><td>コンフューザーV</td></tr></table> 2 BT 剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ゼンターリ顆粒水和剤</td></tr></table> 3 発生初期から薬剤を散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>オルトラン粒剤</td><td>カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td>カーネーションで薬害を生じる恐れがある。 ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>アディオソ乳剤</td><td>ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>ヨーバルフロアブル</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>アフアーム乳剤</td><td>ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>ノーモルト乳剤</td><td>ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>マッチ乳剤</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>ロムダンフロアブル</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>プレオフロアブル</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr></table>	薬剤名	ヨトウコンーH	コンフューザーV	薬剤名	ゼンターリ顆粒水和剤	薬剤名	備考	オルトラン粒剤	カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録	オルトラン水和剤	カーネーションで薬害を生じる恐れがある。 ヨトウムシ類で登録	アディオソ乳剤	ヨトウムシ類で登録	フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨトウで登録	ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウで登録	アフアーム乳剤	ヨトウムシ類で登録	ノーモルト乳剤	ヨトウムシ類で登録	マッチ乳剤	ハスモンヨトウで登録	ロムダンフロアブル	ハスモンヨトウで登録	プレオフロアブル	ハスモンヨトウで登録	
薬剤名																													
ヨトウコンーH																													
コンフューザーV																													
薬剤名																													
ゼンターリ顆粒水和剤																													
薬剤名	備考																												
オルトラン粒剤	カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録																												
オルトラン水和剤	カーネーションで薬害を生じる恐れがある。 ヨトウムシ類で登録																												
アディオソ乳剤	ヨトウムシ類で登録																												
フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨトウで登録																												
ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウで登録																												
アフアーム乳剤	ヨトウムシ類で登録																												
ノーモルト乳剤	ヨトウムシ類で登録																												
マッチ乳剤	ハスモンヨトウで登録																												
ロムダンフロアブル	ハスモンヨトウで登録																												
プレオフロアブル	ハスモンヨトウで登録																												

病害虫	防除法	参考事項																			
シロイチモジ ヨトウ	・ 共通防除の章のシロイチモジヨトウの防除の項を参照する。 (予防に関する措置) 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 2 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 3 交信かく乱剤(下表)を活用した防除を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 作物残さを適切に処分する。 5 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 (薬剤防除) 【シロイチモジヨトウ】・【ヨトウムシ類】 1 交信かく乱剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>ヨトウコンーS</td></tr><tr><td>コンフューザーV</td></tr></tbody></table> 2 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン粒剤</td><td>カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td>カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>アディオン乳剤</td><td>ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td><td>ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>ノーモルト乳剤</td><td>ヨトウムシ類で登録</td></tr><tr><td>ロムダンフロアブル</td><td>シロイチモジヨトウで登録</td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td><td>カーネーションに薬害あり。 ヨトウムシ類で登録</td></tr></tbody></table>	薬剤名	ヨトウコンーS	コンフューザーV	薬剤名	備考	オルトラン粒剤	カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録	オルトラン水和剤	カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録	アディオン乳剤	ヨトウムシ類で登録	アフーム乳剤	ヨトウムシ類で登録	ノーモルト乳剤	ヨトウムシ類で登録	ロムダンフロアブル	シロイチモジヨトウで登録	コテツフロアブル	カーネーションに薬害あり。 ヨトウムシ類で登録	
薬剤名																					
ヨトウコンーS																					
コンフューザーV																					
薬剤名	備考																				
オルトラン粒剤	カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録																				
オルトラン水和剤	カーネーションで薬害報告あり。 ヨトウムシ類で登録																				
アディオン乳剤	ヨトウムシ類で登録																				
アフーム乳剤	ヨトウムシ類で登録																				
ノーモルト乳剤	ヨトウムシ類で登録																				
ロムダンフロアブル	シロイチモジヨトウで登録																				
コテツフロアブル	カーネーションに薬害あり。 ヨトウムシ類で登録																				

病害虫	防除法	参考事項																								
タバコガ類	・ 共通防除の章のオオタバコガの防除の項を参照する。 (予防に関する措置) 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 2 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆を 3 本種に対しては、防蛾用黄色蛍光灯の夜間点灯の効果が高い。これは、ハスモンヨトウやシロイチモジヨトウなど他の夜行性の蛾にも効果がある。 4 交信かく乱剤（下表）を活用した防除を行う。 5 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等を行う。 2 寄生果を見つけ次第、除去する。 3 食害や糞の近くには幼虫がいる可能性が高いので、発見に努め、見つけ次第捕殺する。 4 新芽や花蕾には卵や若齢幼虫がいることが多い。摘心した側枝や蕾はほ場外に持ち出し処分する。 5 BT 剤（下表）を活用した防除を行う。 6 作物残さを適切に処分する。 7 蛹化は土中で行われる。発生の多かったほ場では、ロータリーをかけたりほ場を冠水することで、土中の蛹を死滅させる。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 交信かく乱剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>コナガコン</td></tr><tr><td>コナガコンープラス</td></tr><tr><td>コンフューザーV</td></tr></table> 2 BT 剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エスマルクDF</td></tr><tr><td>エコマスターBT</td></tr><tr><td>フローバックDF</td></tr></table> 3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。なお、中齢幼虫以降になると薬剤の防除効果が著しく低下してしまうので、早期発見、早期防除に重点を置く。 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ヨーバルフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ディアナSC</td><td></td></tr><tr><td>アクセルフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>プレオフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>カスケード乳剤</td><td>タバコガで登録</td></tr></table>	薬剤名	コナガコン	コナガコンープラス	コンフューザーV	薬剤名	エスマルクDF	エコマスターBT	フローバックDF	薬剤名	備考	フェニックス顆粒水和剤		ヨーバルフロアブル		アフーム乳剤		ディアナSC		アクセルフロアブル		プレオフロアブル		カスケード乳剤	タバコガで登録	
薬剤名																										
コナガコン																										
コナガコンープラス																										
コンフューザーV																										
薬剤名																										
エスマルクDF																										
エコマスターBT																										
フローバックDF																										
薬剤名	備考																									
フェニックス顆粒水和剤																										
ヨーバルフロアブル																										
アフーム乳剤																										
ディアナSC																										
アクセルフロアブル																										
プレオフロアブル																										
カスケード乳剤	タバコガで登録																									

病害虫	防除法	参考事項																																	
ハダニ類	(薬剤防除) 農薬登録情報	○ くん煙剤の使用については、 共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用 方法の項を参照する。																																	
	1 気門封鎖剤																																		
	<table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>エコピタ液剤</td><td>カーネーションで薬害を生じるおそれがある。</td></tr><tr><td>サフオイル乳剤</td><td></td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td><td>花卉、苞、葉に薬害を生じるおそれがある。トリアジン水和剤、スルフェン酸系水和剤、キャプタン水和剤及びストロビルリン系剤、TPN(ダコニール等)との混用、近接散布を避ける。</td></tr><tr><td>粘着くん液剤</td><td></td></tr><tr><td>ムシラップ</td><td>発生初期</td></tr></table>		薬剤名	備考	エコピタ液剤	カーネーションで薬害を生じるおそれがある。	サフオイル乳剤		サンクリスタル乳剤	花卉、苞、葉に薬害を生じるおそれがある。トリアジン水和剤、スルフェン酸系水和剤、キャプタン水和剤及びストロビルリン系剤、TPN(ダコニール等)との混用、近接散布を避ける。	粘着くん液剤		ムシラップ	発生初期																					
	薬剤名		備考																																
	エコピタ液剤		カーネーションで薬害を生じるおそれがある。																																
	サフオイル乳剤																																		
	サンクリスタル乳剤		花卉、苞、葉に薬害を生じるおそれがある。トリアジン水和剤、スルフェン酸系水和剤、キャプタン水和剤及びストロビルリン系剤、TPN(ダコニール等)との混用、近接散布を避ける。																																
	粘着くん液剤																																		
	ムシラップ		発生初期																																
	2 自然くん煙																																		
	<table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>テルスタージェット</td></tr><tr><td>マブリックジェット</td></tr></table>		薬剤名	テルスタージェット	マブリックジェット																														
	薬剤名																																		
	テルスタージェット																																		
	マブリックジェット																																		
	3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。																																		
	<table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>マラソン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ロディー乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アグリメック</td><td></td></tr><tr><td>カネマイトフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ダニオーテフロアブル</td><td>銅剤、及び銅を含む製剤との混用不可、近接注意</td></tr><tr><td>ダニコングフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ダニサラバフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ダブルフェースフロアブル</td><td>花に薬害を生じる場合がある。</td></tr><tr><td>テデオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>テデオン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ニッソラン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>パロックフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ピラニカEW</td><td></td></tr><tr><td>ペンタック水和剤</td><td>施設栽培で登録。開花期に薬害生じる場合がある。</td></tr></table>		薬剤名	備考	トクチオン乳剤		マラソン乳剤		ロディー乳剤		アグリメック		カネマイトフロアブル		ダニオーテフロアブル	銅剤、及び銅を含む製剤との混用不可、近接注意	ダニコングフロアブル		ダニサラバフロアブル		ダブルフェースフロアブル	花に薬害を生じる場合がある。	テデオン乳剤		テデオン水和剤		ニッソラン水和剤		パロックフロアブル		ピラニカEW		ペンタック水和剤	施設栽培で登録。開花期に薬害生じる場合がある。	
	薬剤名		備考																																
	トクチオン乳剤																																		
	マラソン乳剤																																		
	ロディー乳剤																																		
	アグリメック																																		
	カネマイトフロアブル																																		
	ダニオーテフロアブル		銅剤、及び銅を含む製剤との混用不可、近接注意																																
	ダニコングフロアブル																																		
	ダニサラバフロアブル																																		
	ダブルフェースフロアブル		花に薬害を生じる場合がある。																																
	テデオン乳剤																																		
テデオン水和剤																																			
ニッソラン水和剤																																			
パロックフロアブル																																			
ピラニカEW																																			
ペンタック水和剤	施設栽培で登録。開花期に薬害生じる場合がある。																																		
クロウリハムシ	(耕種的・物理的防除)																																		
	1 施設周辺の雑草は発生源となるので、普段からよく除草しておく。																																		
	(薬剤防除) 農薬登録情報																																		
	1 発生が予想される場合には、下記薬剤を散布する。																																		
	<table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>スミチオン乳剤</td></tr></table>	薬剤名	スミチオン乳剤																																
薬剤名																																			
スミチオン乳剤																																			

病害虫	防除法	参考事項														
センチュウ類	・ 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 (物理的防除) 1 蒸気消毒を行う (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤を処理する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>DC油剤/DーD/テロン</td><td>ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録</td></tr><tr><td>ネマキック粒剤</td><td>ネコブセンチュウで登録</td></tr><tr><td>ネマトリンエース粒剤</td><td>クローバーシストセンチュウで登録</td></tr><tr><td>キルパー</td><td>ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録</td></tr><tr><td>ソイリーン</td><td>ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録</td></tr><tr><td>ガスタード/バスアミド微粒剤</td><td>ネコブセンチュウで登録</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	DC油剤/DーD/テロン	ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録	ネマキック粒剤	ネコブセンチュウで登録	ネマトリンエース粒剤	クローバーシストセンチュウで登録	キルパー	ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録	ソイリーン	ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録	ガスタード/バスアミド微粒剤	ネコブセンチュウで登録	
薬剤名	備考															
DC油剤/DーD/テロン	ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録															
ネマキック粒剤	ネコブセンチュウで登録															
ネマトリンエース粒剤	クローバーシストセンチュウで登録															
キルパー	ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録															
ソイリーン	ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウで登録															
ガスタード/バスアミド微粒剤	ネコブセンチュウで登録															